文部科学省認可通信教育

だんだん

放送大学島根学習センター
148 号
2025 年 7 月発行

〒690-0061
松江市白潟本町 43 スティックビル 4 階
☎0852-28-5500　fax0852-28-1800
✉shimane-sc@ouj.ac.jp

面接授業「河川地域と人間活動：斐伊川の例」

◆客員教員の「談・談」　・・・・・・・・・・・・・2
◆行事の案内　・・・・・・・・・・・・・・・・・・3～5
◆行事の報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
◆お知らせ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7～10
◆島根同窓会通信・学友会だより・サークル案内　11～13
◆スケジュール（7・8・9月）　・・・・・・・・・14

客員教員の「談・談」

翻訳の楽しさ美しさ

客員准教授　安齋　有紀

近年、フランスでは日本の「俳句〝haïku〟」が学校教育で取り入れられている。情景を思い浮かべながら季語を考え、リズムに合わせて語彙を選ぶ創作活動は、豊かな感性と語彙力を養うと、フランスの国語の授業で小学生が俳句を詠む様子が新聞などで紹介された。俳句の五・七・五のリズムが、フランス語では音節数で表現されていることも興味深い。2020年には、パリ日本文化会館が日仏交流俳句コンクール『離れていても』―with コロナで頑張る世界に俳句でエール―を開催した。世界31カ国からの参加があり、選ばれた俳句は日本語とフランス語に翻訳され、web サイトで紹介されている。外出自粛など制約の多い生活が続く中で詠まれた俳句には、いずれも国を超えて共感できる思いが詰まっていた。ここで小学４年生の一句を紹介したい（それぞれの行の横の日本語は、参考までに私がつけたもの）。

Le four sent très bon　　オーブンが香り
J'ai besoin de mes amis　　私は友を求めている
Le printemps se fane　　春が色あせる
日本語訳：友を待つオーブン香り春は過ぎ

焼きたての菓子とともに友人と楽しく過ごしているはずの春が、友と会えないまま過ぎ去っていく。その寂しさを表現するのに〝se faner〟（色あせる、しおれる）という動詞を選んだ作者の感性と、音読したときの美しさに心打たれた。ある授業で、この句を日本語の五・七・五でどう訳すかという課題を学生に出したところ、実に多様で美しい「翻案」が次々と提示された。母国語の感性が彼らのなかでパッと目覚めたような、生き生きとした瞬間が今も嬉しく思い出される。

歩くことと建築

客員教授　千代　章一郎

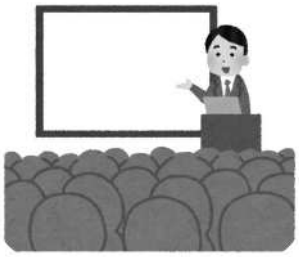
歩くことを始めてかなりの時間が経った。生まれてから歩いているのだから、当たり前である。しかし本当に「歩くこと」を意識したのは、そんなに遠い昔の話ではない。自動車に乗る生活に見切りをつけてからのことである。ただ単に歩く生活を選択しただけのことであるが、歩くことが楽しいか、時間の浪費に過ぎないかは、心のあり方に左右される。ぼんやりと周りを眺めながら、通りがかりの風景に垣間見られる生活を微笑ましく思うこともあれば、樹木や草花が日々変化していくのを見ると、その生命力に感心することもある。まったく別のことを考えて歩くのも、それはそれで一つの風景である。かくしてアリストテレスも、西田幾多郎も歩く達人であった（ヘーゲルだけは歩かなかった）。

歩いていると、一番変わらない風景は、実は自然であることに気づく。もちろん生きているのだから毎日変化する。しかしその変化はある一定のリズムを持っている。大体は一年でまた同じ風景を見せてくれる。そういう姿に人は安堵し、生きていることを実感し、ある人はシャッターを切り、あるひとは描く。

では、一番変わるものはなにか。建築である。建築は人工物であるから、生き物ではない。しかし物質としての建築は、やはり生きている。石もコンクリートも生き物。鉄もアルミニウムも生き物である。もちろん建築も生き物。ゆっくりとした時間ではあるが、日を浴び、雨を吸い込み、大地に揺らされている。歩いているとそんなことに気づく。地球上のすべてのものは動いている。歩くことは動くことである。人間も含め「物質」は動くことによって生気を帯びる。建築はなかなかのものである。

行　事　の　案　内

◆　公　開　講　演　会　◆



●「岩石と鉱物の世界『とっておき（隠岐）のヒスイの話』」

島根大学名誉教授　高須　晃　氏

日　時：6月28日（土）　14：00～15：30
場　所：隠岐の島町図書館研修室
内　容：日本の国石である翡翠(ひすい)は希少な鉱物であり、美しい緑色のものは宝石として高く評価されています。今回の講演では、翡翠の鉱物学的特性や地下での形成条件を科学的に解説するほか、日本では縄文時代に始まる「世界最古のヒスイ文化」についても紹介します。また、私が収集した日本各地や海外で産出する翡翠を展示し、本物の翡翠の原石や加工品を手に取ってご覧いただけます。講師と参加者、また参加者同士で翡翠をテーマに交流しながら、魅力あふれる鉱物の世界に触れる貴重な機会となるでしょう。どなたでも気軽にご参加ください。お待ちしています。

●「村堂の民俗ー集落にある仏堂と私たちの暮らし」

島根学習センター客員准教授　中野　洋平　氏

日　時：8月10日（日）　10：30～12：00
場　所：島根学習センター第１講義室
内　容：私たちが暮らす集落にあって、私たち自身で管理維持する仏堂を村堂といいます。村堂には阿弥陀如来や観音菩薩、地蔵菩薩などさまざまなホトケが祀られていて、私たちは日々祈りを捧げ、まつりを行っています。また、信仰だけでなく村堂は集落の自治にも深く関わってきました。今回は主に出雲地方に注目し、そのような村堂と私たちの関わり合いについて、主に民俗学の立場から考えてみたいと思います。

●「南極の生物と生育環境」

島根学習センター客員教授　大谷　修司　氏

日　時：8月30日（土）　14：00～15：30
場　所：出雲市役所くにびき大ホール
内　容：皆さんは南極にはどのようなイメージがありますか。実は、南極には氷のない土の出た場所があり、ペンギンやアザラシだけでなく多くの生物が生育しています。講演では、演者の３回の南極観測での経験をもとに南極の多様な生物とその生育環境をスライドやビデオを用いて紹介します。南極の生物と生育環境について理解を深めましょう。

●「子どもたちのことばの世界」

島根学習センター客員教授　村瀬　俊樹　氏

日　時：9月7日（日）　14：00～15：30
場　所：島根学習センター第１講義室
内　容：私たちは、自分が母語としてのことばを身につけてきた過程をよく覚えていないのですが、その中には様々なことが含まれています。子どもがことばを身につけていく様子を調べることは、その様々なことを教えてくれます。ことばを話すようになる前にどのようなことが赤ちゃん自身の中に準備されているのでしょう。子どもがあることば（例えば「くっく（くつ）」）と言うのはどういう意味で言っているのでしょう。こういったことに関する研究を紹介しながら、ことばを身につけていく過程に見られる人間の力の複雑さと巧妙さ、そして豊かさをお伝えできればと思っています。

参加を希望される方は、島根学習センター（☎0852-28-5500）までお申し込みください。
９月以降も公開講演会を計画しております。詳細は、島根学習センターウェブサイト等からお知らせいたします。

◆ 入 学 説 明 会 ・ 相 談 会 ◆

2025年10月入学に向けた 「入学説明会・相談会」を開催します。
ご家族、友人、お知り合いの方々にぜひご紹介ください！
いつでも、だれでも、自由な学びを　あなたの学びを応援します！
出願受付期間は6/10～9/11です。

入学説明会・相談会の予定は次のとおりです。

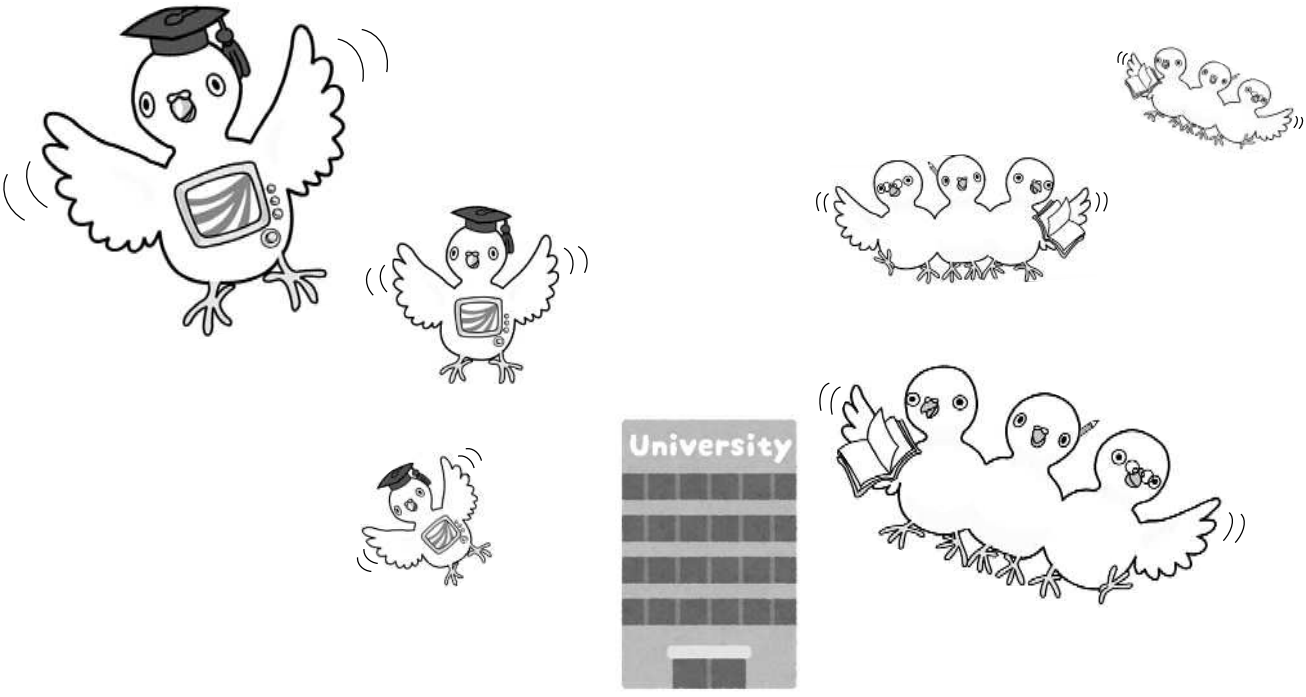
○松江会場	8月　3日（日） 8月31日（日）	10：00～ 14：00～	島根学習センター
○出雲会場	7月　6日（日） 8月24日（日）	13：00～	出雲中央図書館
○浜田会場	7月27日（日） 8月22日（金）	10：00～ 9：00～	県西部社会教育研修センター
○益田会場	7月26日（土） 8月21日（木）	14：00～	益田市立図書館

◆学位記授与式・入学者のつどい◆

期　日：9月28日（日）

場　所：スティックビル3階　第1講義室

日　程：10：40～ 学位記授与式　　13：30～ 入学者の集い



行　事　の　報　告

◆　面　接　授　業　◆

●「河川地形と人間活動：斐伊川の例」

講　師：酒井　哲弥 氏（島根大学・教授）
期　日：５月１０日（土）・１１日（日）
場　所：島根学習センター・斐伊川周辺

講義の１日目は、山間域・平野を流れる河川の一般的な地形的特徴を学ぶとともに、島根県東部を流れる斐伊川を対象に、上流から下流までの河川の地理的特徴などについて座学で学びました。
２日目は、実際に斐伊川の中流域から下流域を巡り、現地で河川地形の観察を行いました。その後、現在の斐伊川の特徴が、どのような人間活動の影響を受けているかについて議論しました。

●「健康スポーツ」

講　師：中谷　昌弘 氏（島根県立大学・准教授）
期　日：５月１７日（土）・１８日（日）
場　所：島根県立大学松江キャンパス

スポーツに関する座学と実技のセクションに分かれた講義でした。実技では、個々の身体に合わせた無理のないストレッチ方法や体幹トレーニング方法を学び、心地よい汗を流しました。

◆　公　開　講　演　会　◆

５月に公開講演会を開催しました。

「島根の建築：古代と現代建築とのつながり」

講　師：千 代　章 一 郎　氏
　　島根学習センター客員教授・島根大学教授
日　時：５月３１日（土）１４：００～１５：３０
会　場：出雲市役所くにびき大ホール
参加者：２７名

お 知 ら せ

◆ 単 位 認 定 試 験 ◆

『学生生活の栞』　教養学部 72～82 頁　大学院 77～86 頁

下記の日程で単位認定試験が実施されます。必ずこの期間に受験してください。

出題形式（択一式/記述式/併用式）によって試験期間が異なります。ご注意ください。

- Ｗｅｂ試験（試験期間）

  (択一式科目)

  ２０２５年７月１６日（水）９：００ ～ ７月２４日（木）１７：００

  (記述式・併用式科目)

  ２０２５年７月１６日（水）９：００ ～ ７月２０日（日）１７：００

- 郵送試験（提出期間）※４科目のみ

  ２０２５年７月１６日（水） ～ ７月２０日（日）《必着》

※「行政学講説（‘24)」「正多面体と素数（‘21)」「日本美術史の近代とその外部（‘18)」「量子化学（‘19)」

◆ 履 修 相 談 会 ◆

履修計画の立て方、科目登録の仕方など、お気軽にご相談ください。

履修相談をご希望の方は、必ず事前にご予約ください。
時間ごとに区切りがありますのでご希望の時間帯をお伺いします。

場　所	相談日	時　間	申込〆切
島 根 学 習 セ ン タ ー	８月１９日（火） ２０日（水）	１０：００～１２：００ １４：００～１７：００	８月１０日（日）
益 田 コ ー ナ ー （益田市立図書館）	８月２１日（木）	１４：００～１７：００	８月２０日（水）
浜 田 コ ー ナ ー （いわみーる ３ 階）	８月２２日（金）	９：００～１２：００	

【問合せ】島根学習センター　☎　0852-28-5500　✉　shimane-sc@ouj.ac.jp

◆次学期の出願（継続入学）及び科目登録について◆

『学生生活の栞』　教養学部 61～66・95～97 頁　大学院 65～71・100 頁

放送大学は２学期制をとっています。あなたの学籍は次学期も続いていますか？
次学期（２０２５年度第２学期）の申請手続きは、「学籍の有無」、「学生の種類」などにより異なります。ご確認の上、手続きを行ってください。

あなたの学籍はどうなっていますか？

今学期末で学籍が切れる方で引き続き本学に入学を希望される方

出願（継続入学）

大学本部から

◆ 入学用関連書類　送付

★ 出願手続き

出願期間内に、**システム WAKABA** または**郵送**で出願してください。

（システムＷＡＫＡＢＡの「**教務情報→継続入学申請**」からできます。）

WAKABA	６月１０日（火）９：００ ～9月１１日（木）１７：００
郵　送	６月１０日（火）～９月１１日（木） 【私書箱必着】

＊原則として９月上旬以降に選考結果通知と払込取扱票が届きます。

＊次学期に再試験のみ希望される場合も、継続入学の手続きが必要です。

＊面接授業の登録申請も希望する方は、科目登録申請期間中（８月１５日９時 ～８月２９日２４時）に学生募集要項６～７頁参照のうえ、システムＷＡＫＡＢＡにて出願を行ってください。

次学期も学籍が続く方

科目登録

大学本部から

◆ 科目登録申請要項　送付

★ 科目登録申請

申請期間内に、**システム WAKABA** または**郵送**で登録申請をしてください。

（システムＷＡＫＡＢＡの「**教務情報→科目登録申請**」からできます。）

WAKABA	８ 月１５日（金）９：００ ～８ 月２９日（金）２４：００
郵　送	８月１５日（金）～８月２８日（木） 【私書箱必着】

＊本部から科目登録決定通知書と払込取扱票が届きます。

＊申請開始の８日前になっても「科目登録申請要項」などの関係資料が到着しない場合、あるいは紛失した場合は、大学本部（℡０４３-２７６-５１１１（学生サポートセンター））にご連絡ください。

＊面接授業の科目登録を希望される方は、併せて申請してください。

科目数、単位数は学習計画や自分のペースに合わせて選択してね。

※ 面接授業は、学期当初の登録だけでなく、空席のある科目については学期途中に各学習センターで追加登録ができます。

◆ 学 習 相 談 の お 知 ら せ ◆

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、客員教員等による対面またはオンライン方式で学習相談を実施します。学習相談表に相談内容を記入し、相談日の３日前までにご提出ください。（電話、メールでの申込みの場合は希望日時、相談内容等をお伝えください。）

■ **相談時間　１人１時間以内**

■ **学習相談表は窓口、島根学習センターウェブサイトに Word と PDF ファイルを用意していますのでご活用ください。**

教員名（専門分野）	学習相談日	
安齋有紀（フランス語学）	7月	3日（木）　9：30～12：30
		10日（木）　9：30～12：30
	8月	8日（金）　9：30～12：30
		22日（金）　9：30～12：30
	9月	2日（火）14：00～17：00
		12日（金）　9：30～12：30
大谷修司（植物分類学）	7月	8日（火）　9：30～12：30
		29日（火）　9：30～12：30
	8月	6日（水）　9：30～12：30
		26日（火）　9：30～12：30
	9月	3日（水）　9：30～12：30
		26日（金）　9：30～12：30
千代章一郎（建築論）	7月	1日（火）　9：30～12：30
	8月	5日（火）　9：30～12：30
	9月	2日（火）　9：30～12：30
武田信明（日本近代文学）	7月	10日（木）13：00～16：00
		30日（水）13：00～16：00
	8月	20日（水）13：00～16：00
		27日（水）13：00～16：00
	9月	17日（水）13：00～16：00
		24日（水）13：00～16：00
中野洋平（民俗学）	7月	3日（木）14：00～17：00
		12日（土）　9：30～12：30
	8月	7日（木）　9：30～12：30
		21日（木）　9：30～12：30
	9月	4日（木）　9：30～12：30
		11日（木）　9：30～12：30
村瀬俊樹（心理学）	7月	4日（金）　9：40～12：40
		12日（土）13：15～16：15
	8月	2日（土）13：15～16：15
		8日（金）　9：40～12：40
	9月	5日（金）　9：40～12：40
		13日（土）13：15～16：15
出口顕（文化人類学）	随時（出勤日）	

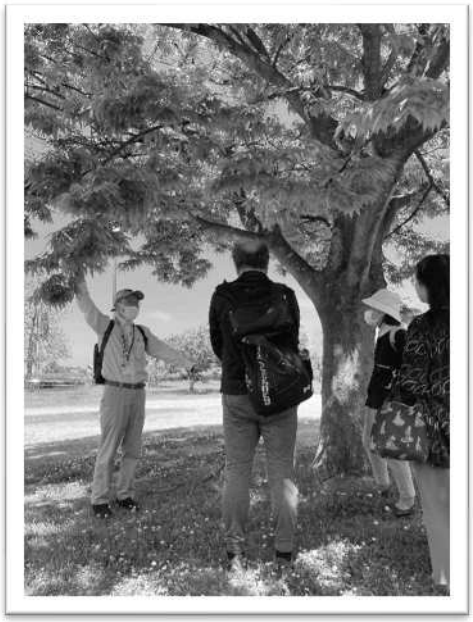
【問合せ】島根学習センター　☎　0852-28-5500　FAX　0852-28-1800
✉　shimane-sc@ouj.ac.jp

◆ ゼ　ミ　の　お　知　ら　せ ◆

島根学習センターでは客員教員によるゼミ（学習会）を実施しています。

ゼミとは客員教員が、専門の分野に沿って開講する少人数・双方向型の学習会です。講義を受講するだけでなく、教材をもとに質疑応答などを交えながら学習を深めていきます。単位の取得はできませんが、直接先生から指導を受けられ、学生同士のディスカッションや交流のできる貴重な機会です。１学期はフィールドワークを含む６つのゼミを開講しています。

２学期からの受講に向けて、ゼミの様子を見学してみたい方は島根学習センターまでお問い合わせください。
※ゼミによっては見学ができないもの、見学の場合でも学研災（１００円/６年）への加入が必要なものがあります。



《 現在開講中のゼミ 》

講　師	テーマ	
安齋 有紀 准教授	言語と文化―言語を対照する―	木曜１０：００～
大谷 修司 教授	自然から学ぶ：身近な植物を観察しよう	火曜１０：３０～
千代 章一郎 教授	建築の歴史	火曜　９：３０～
武田 信明 教授	「現代小説」を読む	水曜１３：３０～
中野 洋平 准教授	フィールドワークから学ぶ民俗学：文化的景観を読み解く	木曜１３：３０～
村瀬 俊樹 教授	実験・調査を通して知る心の仕組み	水曜１０：３０～

2025 年度２学期ゼミの詳細、申し込みについては、９月以降に島根学習センターウェブサイト、掲示板、機関誌だんだん１４９号（１０月発行）にてお知らせいたします。

◆ 図　書　・　視　聴　室 ◆

◆図書・視聴室の利用時間

開所時間	９：３０～ １７：３０

◆第２水曜日は閉室

毎月第２水曜日は、スティックビル休館日のため、図書・視聴室を閉室とします。

◆単位認定試験期間中

７/１６（水）～７/２４（木）は、単位認定試験を島根学習センターで受験する方以外の図書・視聴室利用ができませんのでご了承ください。（島根学習センターで受験する方は、受験日のみ使用できます。）

◆島根学習センター配架雑誌について

新たに英語教育を配架しています。ぜひ日頃の学習にお役立てください。

※貸出しはしていません。図書室内でのみ閲覧できます。

配架期間の過ぎたバックナンバーについて、希望する学生に配布します。引き取り希望の方は学生証を提示のうえ窓口にお申し出ください。

配布期間：６月２１日（土）～無くなり次第終了
冊　　数：１人３冊まで
※７月２５日（金）以降は無制限とします。
配布雑誌：［２０２３年度版］
臨床心理学／文藝春秋／NEWTON／栄養と料理／ナショナルジオグラフィック日本版

◆学習センター在籍状況（令和 7 年１学期）◆

◆学生の種類別

教養学部	全科履修生	320	438	大学院	修士全科生	1	28
	選科履修生	75			修士選科生	20	
	科目履修生	36			修士科目生	3	
	特別聴講生	7			博士全科生	2	
					特別聴講生	2	
令和７年度第１学期在籍者数合計　466 名							

◆市町村別（学部と大学院の合計数）

松江市	187	大田市	13	隠岐の島町	1	米子市	61
安来市	16	江津市	6	西ノ島町	2	境港市	11
出雲市	92	浜田市	17	知夫村	1	大山町	5
雲南市	6	益田市	7			伯耆町	5
奥出雲町	8	美郷町	1			南部町	2
飯南町	2	邑南町	1			その他	22
東部計	311	西部計	45	隠岐計	4	県外計	106

島根同窓会通信（50）

2025 年 6 月 1 日現在　会員数 70 名

第１３回通常総会を開催しました

５月１０日（土）15：５０～１７：１０まで、学習センター第２講義室にて、通常総会を開催しました。来賓に出口所長、平野事務長を迎え、出口所長からは「貴会が日頃から当センターの活動にご協力いただいていることに感謝を申し上げる。また、ICT、AI の活用などの新たな取り組みが求められる中、放送大学が環境変化に対応して充実した教育が行えるようお力をお借りしたい」と挨拶がありました。

総会には 52 人（委任状 38・出席 15 人）の会員が参加し、飯塚理事による司会で、議長に石川副会長を選出、議事録署名人に石川議長、竹下孝理事を指名して議案の審議に進みました。

内容は、昨年度事業報告、決算報告・監査報告、新年度の事業計画、予算、会則一部改定の議案及び任期満了の役員改選でした。

なお、決算報告に一部転記誤りがあり、会則の一部改定に修正意見もありましたので、いずれも訂正資料を議事録に同封して、後日配布することとしました。

また、役員改選では、2013 年の設立から統率して来た竹下靖会長の勇退により、後任に石川副会長が、ほか新たに３名の役員が選出されました。新体制で更に当会の活動が飛躍をすることを期待するものです。

第１８回市民公開講座を開催しました

通常総会に先立ち、第 18 回市民公開講座を第２講義室にて開催しました。

講師に島根大学法文学部准教授　宮澤文雄先生（元放送大学島根学習センター客員教員）をお招きし、「ラフカディオ・ハーンが出会った松江の人々～小泉セツと西田千太郎を中心に～」をお話いただきました。

10 月からラフカディオ・ハーンと妻小泉セツに焦点をあてた、NHK 朝ドラ『ばけばけ』が始まるためか、定員をはるかに超え会場は満員となり、関心の高さが伺えました。

ハーンとセツの仲立ちをした西田千太郎（島根県尋常中学校教諭）が残した日記や資料が彼の旧居から見つかった事についても紹介があり、幕末から明治中期の激動の時代を生きた一青年の姿、彼と小泉八雲夫婦との交流、小泉八雲旧居の保存活動などについて興味深いお話を伺いました。

学友会だより

第 48 号
島根学習センター学友会
発行者　藤嶋教彰
2025 年　6 月発行

第１９回学友会定例総会　実施報告

会長　藤 嶋　教 彰

２０２５年４月６日（日）に学友会の第１９回定例総会を実施しました。議事は２０２４年度事業報告・決算、２０２５年度事業計画・予算、そして役員改選でした。全体を通して和やかに進み、全ての議事について承認となりました。委任状による出席を含め、ご参加いただきました皆様に感謝いたします。

学友会は前身の学友交流会（２００７年１０月６日発足）と合わせますと、今年で 19 年目を迎えます。また、役員については第１０期という節目となりました。

今年度につきましては、３月に予定します健康維持増進のためのロコモ体操教室と、島根学習センター4 階奥の自習スペース内で常設にて実施しています教科書譲渡事業を継続します。また、島根学習センターとの共催で入学者ガイダンスや、学生研修旅行（県外旅行を念頭にして場所選定中）など様々な取り組みをしてまいります。

その他、学友会会員の皆さまの中で、面白そうな事業、開催してほしい事業がございましたら、ぜひお声がけください。内容を検討し、実施可能であれば今年度や来年度で実施を計画いたします。面白い事業を行うためには会員の皆さまのご協力が何より重要となってまいります。よろしくお願いいたします。

～教科書をご寄贈してくださる方を募集いたします～

教科書譲渡事業を始めたての頃はコーナーの本棚にぎっしりと譲渡本が入っていましたが、盛況により冊数がだいぶ少なくなってまいりました。最近になって教科書のご寄贈がありましたが、まだまだ量が少ない状況です。

本事業は履修が完了し、読まなくなった教科書を他者へ譲渡する事業となっております。ご寄贈いただきました教科書は譲渡コーナーに置かれ、誰でも自由に持ち帰ることができるようになります。本の内容は学問的に古くなっているものもあるかと思います。しかし、大きなトピックは時代を経ても変わらないため、十分に価値があります。また、本に書き込まれたメモなどにも大きな価値があります。譲渡本を見た学生は学問的な知識を得るだけではなく、メモの方法を見て学び方の一例を知ることができます。たくさんの人からご寄贈いただきますと、学び方のバリエーションを複数の本を見ることでわかるようになるため、譲渡コーナーの価値が高まります。コーナーに置いてある本を見に来た学生、コーナーから持ち帰った学生は、きっと沢山のことを学んでくれると思います。

ご寄贈の方法はいたって簡単で、譲渡コーナーの本棚の中に入れていただくだけです。手続きはなく、１分とかからずに完了します。学友会員でない方でも問題ありません。本が溜まって置くスペースに困っている、でも捨てるのはもったいない、とお考えの方はぜひご寄贈ください。

学友会員の方でしたら、島根学習センターの近郊区域の場合、依頼いただけましたら本の回収にも伺います。ぜひお声がけいただけますと嬉しく思います。

ご協力を、何卒よろしくお願いいたします。

○･●･○学 生 サ ー ク ル 紹 介○･●･○

学 友 会 ●活動:随時 ●年会費 1，000 円 （2 学期からの新規入会は 500 円） ●代表者:藤嶋	学生研修旅行（センターとの共催）、松江散策ツアー、学友会だよりの発行、入学者ガイダンスへの参加など学習に役立つことや学生間の交流を行っています。また、学生に不要となった印刷教材の再利用（リユース）などの取り組みも行っています。
古 文 書 を 読 む 会 ●毎月1回 第3水曜日 13:00～15:30 ●会費:月額500円で6ヶ月分前払い ●代表者:竹下 ※学外者も入会可	古文書を自分で読めた時の喜びや達成感は計り知れません。毎回講師を招き、江戸時代に書かれた古文書の原文を読み下すだけでなく、当時の社会構造や武家社会の状況、村に残されていた村方文書についても解読します。さらに時代背景も学び、皆が理解するまでゆっくりと学びます。特に松江藩郡奉行文書（全国で唯一訴状から裁きが終わるまでの文書）は身近な地名や人物が判明して、興味が一段と湧いてきます。
だんだんサロン・表 現 の 会 ●毎月1回 主に第3木曜日 13:30～16:00 ●会費:無料 ●代表者:知野見 ※学外者も入会可	表現活動（話す・書く）を通して、豊かなコミュニケーション能力を身につけることを目的として以下の活動を行っています。 （おしゃべり会）自由な話し合いを通して、話しことばの楽しさを学ぶ （作文の時間）作文を読みあうことで、文章表現を学ぶ ※前半は「おしゃべり会」後半は、「作文の時間」です。どちらかだけの参加もできます。

サークルへの入会希望、質問等は島根学習センターまでお問い合わせください。
追ってサークル代表者よりご連絡いたします。
【問合せ】島根学習センター ☎ 0852-28-5500 ✉ shimane-sc@ouj.ac.jp

学生証の受け取りがまだの方、有効期限が切れた方

【郵送】①～③を学習センターへ郵送してください。
①郵送による学生証交付願
②返信用封筒（宛先を明記のうえ、特定記録郵便３２０円分の切手を貼付）
③在学生の方 ➔①、②と有効期限切れの学生証
　入学した方 ➔①、②と入学許可書の写しと顔写真付きの公的な身分証明書（運転免許証等）の写し

【窓口】上記③を持参

---------- ✂ キリトリ ✂ ----------

郵送による学生証交付願

学生番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日　電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　所　〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学生の種類　（〇で囲んでください）

全科　選科　科目　修士全科　修士選科　修士科目　博士全科　特別聴講　集中・司書

スケジュール

【ゼ】ゼミ　【相】学習相談　●面接授業

7月

日	曜	行事	
1	火	【相】千代	
2	水	【ゼ】武田	
3	木	【相】安齋 【相】中野	
4	金	【相】村瀬	
5	土		単位認定試験体験会（松江）
6	日		入学説明会・相談会（出雲）
7	月	閉所日	
8	火	【相】大谷	
9	水	図書視聴室閉室	単位認定試験体験会（浜田）
10	木	【相】安齋 【相】武田 【ゼ】中野	
11	金		
12	土	【相】中野 【相】村瀬	
13	日		
14	月	閉所日	
15	火	【ゼ】大谷	
16	水	図書視聴室閉室	単位認定試験
17	木		
18	金		
19	土		
20	日		
21	月	閉所日	海の日
22	火		
23	水		
24	木		
25	金		
26	土		入学説明会・相談会（益田）
27	日		入学説明会・相談会（浜田）
28	月	閉所日	
29	火	【ゼ】千代 【相】大谷	
30	水	【相】武田 【ゼ】村瀬	
31	木	【ゼ】安齋	

8月

日	曜	行事	
1	金		
2	土	【相】村瀬	
3	日		入学説明会・相談会（松江）
4	月	閉所日	
5	火	【相】千代	
6	水	【相】大谷 【ゼ】武田	
7	木	【相】中野	
8	金	【相】安齋 【相】村瀬	
9	土		
10	日		公開講演会（松江）
11	月	閉所日	山の日
12	火	閉所日	
13	水	閉所日	
14	木	閉所日	
15	金	閉所日	
16	土	閉所日	
17	日	閉所日	
18	月	閉所日	
19	火	【ゼ】大谷	履修相談会（松江）
20	水	【相】武田	履修相談会（松江）
21	木	【相】中野	入学相談会・履修相談会（益田）
22	金	【相】安齋	入学相談会・履修相談会（浜田）
23	土		
24	日		入学説明会・相談会（出雲）
25	月	閉所日	
26	火	【ゼ】千代 【相】大谷	
27	水	【相】武田 【ゼ】村瀬	
28	木	【ゼ】安齋 【ゼ】中野	
29	金		
30	土		
31	日		入学説明会・相談会（松江）

9月

日	曜	行事	
1	月	閉所日	
2	火	【相】安齋 【相】千代	
3	水	【相】大谷 【ゼ】武田	
4	木	【相】中野	
5	金	【相】村瀬	
6	土		公開講演会（松江）
7	日		
8	月	閉所日	
9	火		
10	水	図書視聴室閉室	
11	木	【相】中野	
12	金	【相】安齋	
13	土	【相】村瀬	
14	日		
15	月	閉所日	
16	火	【ゼ】大谷	
17	水	【相】武田	
18	木		
19	金		
20	土		
21	日		
22	月	閉所日	
23	火	閉所日	秋分の日
24	水	【相】武田 【ゼ】村瀬	
25	木	【ゼ】安齋 【ゼ】中野	
26	金	【相】大谷	
27	土		
28	日	★学位記授与式・入学者のつどい	
29	月	閉所日	
30	火	【ゼ】千代	

開所時間　9：30～17：30

MEMO

自分自身も全科履修生であり、単位認定試験の度に、普段の生活では得られない緊張感を体験しています。
放送大学では、放送授業の視聴やオンライン授業。単位認定試験まで、自宅のパソコンで行うことができます。
また、1 科目を登録すれば、約 300 科目の放送授業を視聴することができるようになります。
関係者の皆様やご家族・ご友人・お知り合いの方々に、放送大学で学ぶ魅力について、お伝えいただきたいと思います。放送大学は、いつでも誰でも自由な学びを応援しています！（渡辺）